

第197回 教育研究評議会 要 録

日 時 令和3年6月16日(水) 12時59分～13時24分
場 所 遠隔会議：Z棟R01室, 各研究室等
出席者 今岡学長, 藤原理事, 小路田理事, 小川理事, 野村理事, 平井理事, 河本副学長, 黒子副学長,
高須副学長, 安田副学長, 遊佐副学長, 才協副学長, 中山文学部長, 山内理学部長,
中山生活環境学部長, 渡邊人間文化総合科学研究科長, 藤田工学部設置準備室会議議長,
石崎評議員, 鈴木広光評議員, 酒井評議員, 柳沢評議員, 鈴木則子評議員, 高田評議員,
柳澤評議員, 久保評議員
列席者 三野監事, 福田監事, 岩阪事務局次長／総務・企画課長, 桑原国際課長, 川村研究協力課長,
林財務課長, 岩田施設企画課長, 鱸学務課長, 西村学生生活課長, 早川入試課長,
横井学術情報課長

議事に先立ち, 前回の記録を確認。

I 審議事項

1. 令和2事業年度に係る業務の実績に関する報告書について

小路田理事から, 資料1により説明があり, 審議の結果, 原案のとおり承認し, 経営協議会及び役員会へ付議することとした。また, 意見等あれば6月21日までに担当課まで連絡することとした。

鈴木則子評議員から, 報告書における学長選考会議の記載について, 学長選考会議は大学から独立した組織であり, 報告書に記載することに違和感があるとの意見があり, 小路田理事から, 学長選考会議も法人の組織であり, 内容は学長選考会議の確認を受けているものでもあるため問題ないとの発言があった。

2. その他

なし

II 報告事項

1. 第283回役員会について

学長から, 資料2により報告があった。

2. 奈良教育大学との連携協議について

学長から, 資料3により, 合同理事長選考会議規程を制定したこと, 法人統合に関する広報用冊子の作成についての報告があった。

高田評議員から, 合同理事長選考会議及び学長選考会議には教育研究評議会から委員が選出されているため, 選出された委員より, 会議の内容について定期的に教育研究評議会で報告が行われるべきではないかとの意見があり, 小路田理事より, 合同理事長選考会議及び学長選考会議において決定する事項であり, 両会議に意見があったことを伝えさせていただくとの発言があった。これに対して, 高田評議員から, 合同理事長選考会議及び学長選考会議において提案いただきたいとの要望があった。

3. 国大協通常総会について

学長から, 資料4により, 6月14日に行われた国立大学協会の第1回通常総会について報告があった。また, 令和3年度秋の地方(山梨大学が当番校)での総会については, 新型コロナウイルス感染症の影響により中止になったことの報告があった。

4. 第4期中期目標・中期計画の検討状況について

小路田理事から、資料5により第4期中期目標・中期計画の検討状況について報告があり、中期目標の選択項目について、項目①と②を掛け合わせた独自項目を策定する方向で進めていること、その内容を含め6月17日に文部科学省との事前相談を予定していること、7月の定例会議に諮ったうえで7月末に文部科学省に提出することの説明があった。また、意見があれば6月25日までに担当課まで連絡いただきたいとの発言があった。

高田評議員から、中期計画X-1中「国際的な日本史・日本文化研究を行い」や評価指標「日本史・日本文化の研究とその世界発信のためのシステムを構築する」の記載は具体的に何を指しているのか、このような大きな話が唐突に出てくることに不信感を抱くとの意見があり、小路田理事から、以前より関連する記載がされており、唐突に出て来たものではないとの発言があった。また、高田評議員から、この計画の実績はどのようなものになるのか、国際的な研究発信はどなたが責任をもってやるのか個人名をあげていただきたい、実績を求められるので責任を持つ人が必要であるとの意見があり、小路田理事から、本学は奈良女子大学21世紀COEプログラム以来、実績を積んでおり、今後は奈良カレッジズで他機関とネットワークを築いて進めていきたい、また、現時点ではシステムの構築を検討しており個人名をあげる段階ではないとの発言があった。これに対して、高田評議員及び鈴木則子評議員から、誰が実際にできるのか不安である、現在成果を出しているのかエビデンスになるものを示してほしい、実績を示すことができないようなものを記載すべきではないとの意見があり、学長から、従来と比べて第4期中期目標・中期計画は、理念としてどこに向かって努力するかがポイントとなり、すでに実績があるものでと枠にはめると夢が語れないとの発言があった。さらに、高田評議員から、古代史であれば実績が積み上げられており賛成だが、日本史と広くなると反対である旨の意見があった。

5. 各室等からの報告について
なし

6. その他

学長から、6月19日に工学部及び奈良カレッジズのキックオフシンポジウムをオンラインにより開催予定であるとの周知があり、学内構成員には、後日、本学webサイトに掲載予定の動画配信により視聴いただきたいとの報告があった。

以上